

遊！！すぽーつ

第 1 号

平成 7 年 4 月 1 日
発行 神戸町体育指導委員協議会
神戸町教育委員会

今年度より、体育指導委員協議会の活動等を記した広報誌「遊！！すぽーつ」を、年間 2 回の予定で発行する運びとなりました。日頃から、スポーツに接する機会や興味の少ない方にもできるだけわかりやすく、また、スポーツのみならず、社会教育全般についても情報を提供していければ、と考えています。

たいし

はじめは、体育指導委員（通称：体指）について、簡単にお話ししたいと思います。

- ①体育指導委員は、スポーツ振興法（昭和36年制定）第19条の中で、「市町村教育委員会に体育指導委員を置く」と規定されています。その職務は、教育委員会規則の定めるところにより神戸町におけるスポーツの振興のため、住民に対しスポーツの実技指導その他スポーツに関する指導・助言を行うものです。
- ②神戸町における体指の定数は15名（男性11名、女性4名）で、地域性を考慮のうえ選任されています。また、任期は2年で、今期の場合は、平成6・7年度です。（名簿・組織図については、次頁をご覧ください。）

体育指導委員協議会メンバーの紹介



- ◆生涯スポーツの推進役として、また行政と町民の“リンクマン”として、邁進していきたいと思います。（小倉武郎）
- ◆「いつでも、どこでも、だれもが」楽しめるニュースポーツ。スポーツを通して生き甲斐と健康づくりを！（田中耕二）
- ◆“スポーツも文化のうち”個性のあるスポーツを生涯できると素晴らしい。（大場尊美）
- ◆体指になり、多くの人々との出会いの中で、自分自身大変勉強になりました。感謝するとともに、今後もより一層努力していきたいです。（河瀬和寛）
- ◆遊び心で、スポーツを楽しむこともいいものです。ゆっくり長く生涯スポーツを！！（奥田尚二）

◆「スポーツで健やかに、いきいきと」をモットーに取り組んでいます。体指3年目です。今後も頑張ります。(番 直雄)

◆町民の皆さんに、スポーツを通した“ふれあい”の場を提供できれば、と思っています。(西中英夫)

◆今期より、お仲間入りしたニューフェイスです。体指の中で一番若いのが私です。どうぞよろしくお願いします。(山川広利)

◆“スポーツを生涯の友に”をスローガンに、体力の続く限り、頑張ります。(加納雅人)

◆皆さんに支えられて2年間。少しは自分の役割がわかってきましたが、まだまだこれからです。(若園和朗)

◆住民のスポーツニーズに応える体指として、少しでもお役に立てれば、と思っています。(川上千里)

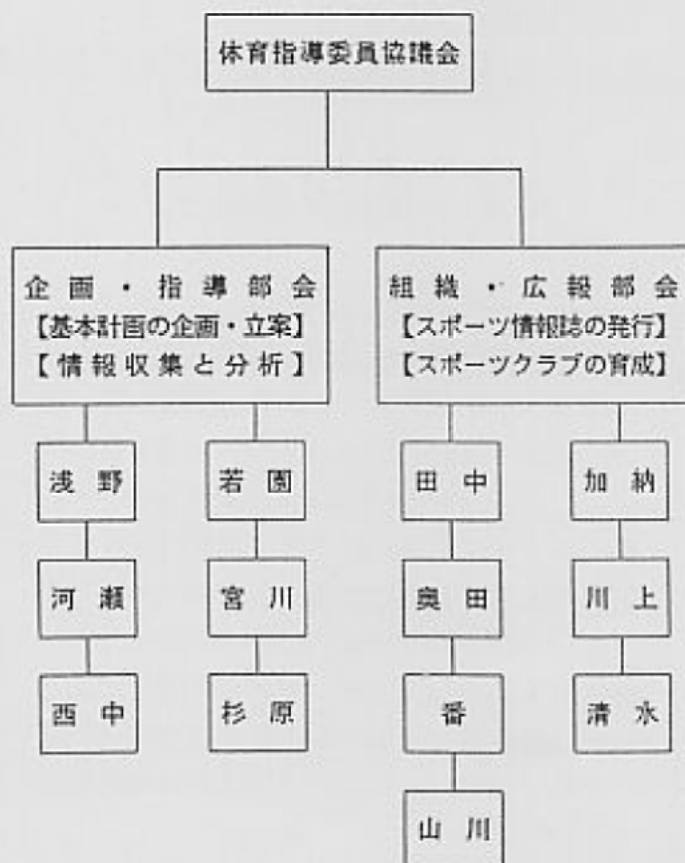
◆体指を始めて早3年。これからも積極的にいろんなことに挑戦し、努力していこうと思います。(宮川由美子)

◆スポーツは心と心をつなぐかけ橋。仲間をつくろう！一緒にやろうヨ！(清水博子)

◆生涯スポーツを推進するために、自ら研修・人々との交流を積極的に行いたい。(杉原真知子)

スポーツ・レクリエーションについてご不明な点、ご要望等がありましたらお気軽にご相談ください。

地区	氏 名	町 名	電 話	役 職・所 属
神戸小校下	田 中 耕 二			組織・広報部会長
	河 瀬 和 寛			
	奥 田 尚 二			
	杉原真知子			
下宮小校下	番 直 雄			
	宮川由美子			
	山 川 広 利			
南小校下	大 場 尊 美			副 委 員 長
	西 中 英 夫			
	清 水 博 子			
北小校下	小 倉 武 郎			委 員 長
	浅 野 敏 夫			企画・指導部会長
	川 上 千 里			
学 校	加 納 雅 人			神 戸 中 学 校
	若 園 和 朗			神 戸 小 学 校



※ 委員長・副委員長については両部会に入る。

平成6年度の活動報告より 「岐阜県体育指導委員研究大会に参加して」

平成6年度の体指のメイン・テーマは、何と言っても「県体指の研究発表」でありました。その大会が去る3月2日郡上郡八幡町総合文化センターにおいて、県下各地より体指並びに社会体育関係者 800余名の参加のもと、盛大に開催されました。

研究・実践発表は、「薔薇色人生にテイクオフ～スポーツ・レクリエーション協会設立に向けて～」というテーマで行いました。県大会での発表は、昭和56年以来で、当初は戸惑いも隠しきれませんでした。しかし、研究を進めるに従って、体指全員が一つの目標に向かって一丸となり取り組めたことは、非常に意義のあるものでした。当日は、ビデオプロジェクター等を駆使した発表で、成功裏のうちに終了することができ、参加者からは非常に高い評価が得られ、ひとまず安心しました。

近年、スポーツに対する関心が高まり、スポーツに親しむ人々が増えてきており、目的・内容も複雑・多様化を極めていきます。今回の発表が、発表のための研究に終わるのではなく、これを契機として、今後はいろいろな問題を少しずつ解決していき、更なる飛躍をしなければならないと、痛感しました。

＜田中耕二 記＞

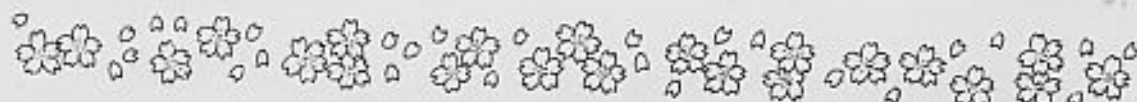


平成6年10月～7年3月までの主な活動内容

平成7年4月～9月までの行事予定

- 10月 体育推進員・体指合同会議
県体指研究大会発表準備委員会
各校下綱引自由練習会
- 11月 綱引実行委員会
(後期) 西濃地区体指研修会
第6回神戸町レディース綱引大会
第35回全国体指研究協議会(広島市)
- 12月 先進地視察研修(石川県野々市町)
第6回神戸町ソフトバレーボール大会
- 2月 第42回東海四県体指研究大会(蒲郡市)
県体指研究大会発表リハーサル
組織・広報部会
- 3月 県体指研究大会(郡上郡八幡町)
安八郡体指研修会(大垣市)
- ※ 定例会は毎月1回開催

- 4月 定例会
- 5月 体育推進員研修会
郡体指総会・研修会
定例会
- 6月 (前期) 西濃地区体指研修会(池田町)
婦人会スポーツ大会
定例会
- 7月 第4回神戸町水のフェスタ
体育推進員実技研修会
第1次スポーツ教室
定例会
- 8月 親子わいわいナイター広場
定例会
- 9月 定例会



岐阜県では、平成10年の全国スポーツ・レクリエーション祭の開催に向け、スポーツ人口の増大計画を発表しました。そこで今回は、全国スポ・レク祭の競技種目でもあり、県の普及種目でもあるグラウンド・ゴルフについて取り上げます。

Vol. 1 グラウンド・ゴルフ

詳しい資料等が欲しい方は、
教育委員会又は体指までどうぞ

【概要】

グラウンド・ゴルフは、木製のスティックで、直径6cmのボールを打ち、立ててあるホールポストの直径36cmの金属の輪に決められた順にしたがって、スタート位置から打ち始めホールポストに入るまでの打数を競う競技です。

グラウンド・ゴルフは、鳥取県の泊村委員会が考案したため、泊村の地名にちなんで、ホールポストに入ることを「トマリ」と呼んでいます。現在、日本グラウンド・ゴルフ協会が設立され、陶アシックスが用具を販売しています。



【用具】

1. スティック
長さ83cm（子ども用73cm）
2. ボール
直径6cm（75g以上～95g以下）で見分ける事が出来る物が良い。
3. ホールポスト
1～8までのホールナンバーが表示されている旗をとりつけます。
ホールの中心部には、「トマリ」を表す、鈴をとりつけます。
4. スタートマット
1～8までのホールナンバーが表示されています。
（なくてもゲームにはさしつかえありません）

【場所】

運動場・河川敷・公園・庭など。場所によって距離やポストの数を変えれば、どこでも楽しむ事ができます。

何よりもプレーヤーがコース、技能、目的、環境に応じて設定できることがポイントです。

【人数】

個人競技と団体競技があります。
※団体競技はプレーヤー6名 交代プレーヤー2名まで。

【競技に関する規則】

ルールは、ゴルフに準じます。

1. 競技中の打球練習は、1打付加します。
2. 草を刈ったり、木の枝を折ったりしたら、1打付加します。
3. 1打でボールを2回打ったときは、2打と数えます。
4. 紛失ボールとアウトボールは、1打付加します。
5. 打ったボールが、他のボールに当たったらボールの止まったところからゲームを続け、他のボールは、元の位置にもどします。
6. 1打目でホールポストの輪に入ったら、その競技者の合計打数から3打引くことができます。

【ゲームの進め方】

グラウンド・ゴルフのゲームの楽しみ方は何10種類も考えられます。が、その中でも基本となるホールマッチとストロークマッチを紹介します。

1. ストロークマッチ

ストロークマッチは、最も多く用いられるゲームの方法で、各ホールをプレーして全ホールの総打数で勝敗を決めます。総打数の少ないプレーヤーが勝ちとなります。この場合、打数とは個人戦の場合はそのプレーヤーが打った回数をいい、団体戦の場合はチームメンバー全員の打った回数のトータルをいいます。その際同打数の時は個人戦では最少打数の多いプレーヤーの勝ち、団体戦では最少打数のプレーヤーが多いチームの勝ちとなります。

2. ホールマッチ

ホールマッチは各ホールごとのストロークで勝負を決めるゲームで、例えば、第1ホールでAが4打、Bが3打の場合はBの勝ちとなり、BはAより1アップとなります。また、第2ホールでAが3打、Bが3打の場合は引き分けとなります。このようにゲームを続けて相互に勝ちとなったホールをくらべて、勝ったホールの多いプレーヤーの勝ちとなります。団体戦の場合も同じ考え方で進めます。

標準のコース図

